

— 真の更生を目指して —

一年を振り返って

— 感謝と展望 —

NPO法人「オリーブの家」は、2013年10月から立ち上げの準備がスタートしました。2014年2月には施設の準備が整い、同年3月3日に保護観察所からの委託事業として入室者の受け入れが始まりました。ここまで全てが順調に進められてきたことは、この働きにご賛同くださる多くの皆様のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

「オリーブの家」は、刑余者の皆さんに対し、自立準備ホームの運営を通じて、社会復帰の指導や援助を行い、地域社会の一員として自立した生活形成と、それを維持できるような支援活動を行う事で、再犯防止と安心安全な地域社会作りを寄与することを目的として活動しています。

特筆すべきこと

2015年5月1日現在、延べ21名の方々を受け入れています。様々な課題や困難を乗り越えながら、無事1年を過ごすことができましたが、特筆すべきことが二つあります。

(1) 去年の10月からスタートした食堂運営と日曜礼拝です。この交わりと学びを通して皆さんの心に変化が現れ始めていることで

す。「人は内側が変わらなければ何も変わらない」の具体例を見る思いがします。食堂での理事長と入室者各人との交流は、うつ状態の人が明るくなるなど、皆のくつろぎの場ともなっています。(2)次に、理事長と入室者の皆さん一人ひとりとの連絡帳(交換日記)の存在です。その内容を紹介するコーナーを設けましたので、是非ご覧ください。以下にOBのYさんからの手紙をご紹介します。

Yさんからの手紙(原文のまま)

人生、失敗しても大切なものを得ることが出来る。人生、失敗したからこそ、その有難みが分かる。暗闇の中に一人あっても光は何処かしらから差ししてくる。その暗闇の中の光は眩しさの他に優しさを感じた。オリーブの家は、その光であり、その大切なものを教えてくれた場所でした。

常に私と同じ立場に立って意見交換をしてくれた青木施設長、優しさの本質を教えてくださいました。今は、オリーブの家で借りた自転車に乗り、寄付をしていたいただいた洋服を着て、毎日下通町の料理屋に通っています。現在は調理場を任せて頂いております。風邪をひいて



オリーブの家
理事長

青木康正

熱が出て、久々の仕事で体が痛く挫けそうになっても、青木施設長をはじめ、オリーブの家のスタッフの方々、施設の仲間の励みや応援があり頑張ることが出来、今の私がいると思います。本当に感謝しております。

オリーブの家で、私は生まれ変わったと思っています。そういうことは、第三者が感じて言うていただく言葉だと思えますが、オリーブの家では自立支援だけでなく、これから生きて行くために自分に足りなかった何かを教えてくださいたいような気がします。最後に青木施設長に教えて頂いたお祈りでご挨拶させていただきます。

天にいます私たちの父よ。オリーブの家の私たちの父よ。御名があがられますように。御国が来ますように。みこころが天で行われるように地でも行われますように。私たちに日ごとの糧を今日もお与え下さい。私たちに日ごとの光を今日もお与えください。私たちに自立の力と勇氣と希望をお与えください。私たちがを試みに会わせないで悪からお救い下さい。国と力と栄は、とこしえにあなたのものだからです。(安政町通りのお店で働く料理人 Y Y)

入室者の声



●もしあの時、熊本観察所において青木さんに知りあわなければ、私は今でも生活の拠点も収入も宿泊する所もなくただ一日をあてどもなく思案に明け暮れ、さまよい歩いていた事と思います。…その内に不安がつのり極限状態の中で本心でなくても何らかの罪を犯し、再び塀の中へ戻る道を歩いていたかもしれせん。もちろん息子や家族との再出発に向けての再会協議など夢のまた夢であったことでしょう。…現状の衣・食・住に甘えず常に前に向かって自立を目指して努力は惜しまないつもりです。社会人としての生活基盤はもとより、父親や祖父としての威厳を少しでも取り戻したいと思えます。

。(K・N 60代) 2014/7/12記

K・Nさんは、再犯を重ね一時は家族にも見放され、失意のどん底にありました。お世話させて頂く中で、徐々に心境の変化が現れました。途中介護の職業訓練も受け、所持する二種免許を活かし、

介護タクシーをすることが彼の夢であります。

●毎日デボーションガイド・クリスを拝見していますが、本当にクリスの教えや聖句は為になります。…「オリーブの家」そして、理事長に出会わなければ、一生クリスチャンには目覚めなかったかもしれせんので、主イエス・クリスの神さまと理事長には大変感謝しております。…私自身しっかりと自分自身を改めて、回心する心構えでありますのでこれからも宜しくご指導の程お願い申し上げます。(H・K 30代) 2015/4/25記

元暴力団であるH・Kさんは、入室当初はオリーブの家での生活にも慣れず、本人も苦しみの中にあつたようです。しかし、真正面から向き合うことで、心に変化が見られるすばらしい一例といえましょう。全身への刺青や断指等々私の過去ともダブリ更生への道を歩んで欲しいと取り組んでいます。

●2月に入室した少年の誕生日後のノートより。

天のお父さま。私をおつくりになったあなたに、心から感謝します。18歳を迎え、こうしてあなたを本当の意味で知り、また、オリーブの家の皆さんと出会え、青木さん、順子さんと出会え、真に内面をあなたの御手によって変えられていく喜びに、心が踊っています。全てがあなたのご計画であり、あなたが私を用いて一人でも多くの人を、あなたの御元に招くことができる私は確信しています。どうか、いつまでも私の心に宿り、お守りください。主イエス・クリストの御名によってお祈ります。アーメン。(T・A 10代) 2015/4/23記

T君は、幼児期より施設に預けられ辛酸な生い立ちを持つ少年です。暴走族となり悪事にも手を染め、この2月に少年院を出てきたばかりです。今は、「I have a dream」と、学業、仕事、信仰の三本柱をやり遂げると強い決意でおり、私たちオリーブの家の希望の星であります。

皆様からの温かいご支援に感謝いたします。

銀行振込

肥後銀行 (銀行コード: 0182)
京町支店 (支店コード: 156)
口座番号: (普通) 1574408
口座名義: NPO 法人 オリーブの家 理事長 手柴常憲
(トクヒ) オリーブノイエ

郵便振替

銀行名: ゆうちょ銀行 (金融機関コード: 9900)
口座番号: 17180-5444801
口座名称 (漢字): NPO 法人オリーブの家
口座名称 (カナ): トクヒ) オリーブノイエ
(他銀行からお振込の場合は)
店名: 七一八 (読み: ナナイチハチ)
店番: 718
口座番号: (普通) 0544480

会計報告 (2014年4月~2015年3月)

収入	公的援助	7,489,677円
	献金	2,504,892円
	その他	195,000円
	(収入合計)	10,189,569円
支出	家賃	2,408,947円
	光熱費	656,354円
	食費	1,679,254円
	人件費	2,950,015円
	その他	2,195,678円
	(支出合計)	9,890,248円
初年度収支		299,321円
翌年繰越金		2,054,740円

